広報 NASUKARASUYAMA

那須烏山

— No.55 —

2010 April **4**

Public Relations Magazine
of Nasukarasuyama City

平成22年度の主な事業と予算…… 2
第2回市議会定例会……………… 6
婦人がん検診……………………10
卒業・卒園おめでとうございます …12
長寿・受賞おめでとうございます …14
市消防団が組織再編……………15
市職員の人事異動………………18
まちの話題………………………20
インフォメーション………………22

私たち6年1組…卒業します!(3月19日、七合小学校)

平成22年度主な事業と予算

平成22年度の当初予算が決まりました。経済不況により個人所得の大幅な減少、企業収益の急激な悪化等により地方税収入が落ち込む厳しい状況でありますが、国・県の施策を的確に把握しながら、健全な行財政運営に努めつつ、引き続き雇用を含めた経済対策と、「那須烏山市総合計画」に基づき「ひかり輝くまちづくり」の実現を目指した基本目標を着実に推進するため、限られた財源の効果的・効率的な活用に努めた積極型予算編成を行いました。

今月号は、年度初めに当たり、これからの一年間、市ではどのような事務事業に取り組み、予算はどうなるのか紹介しましょう。

ひかり輝くまちづくり施策と市民の生活優先事業

平成22年度は、厳しい財政状況の中、雇用を含めた経済対策と併せて学校耐震化対策事業を積極的に進めることが最重要施策であると考えています。また、教育、福祉、医療、保健（健康）、安心・安全、環境など「市民の生活優先」とした各種事業の展開を図るための選択と集中を基本とした重点・主要事業の展開を次のとおり進めます。

■雇用対策の充実

事業費　2億4438万円

①商工振興資金等の拡充

・保証協会預託金1億円から1億2000万円へ

・保証料全額市負担

②緊急雇用創出事業（38人雇用）・ふるさと雇用再生特別事業（11人雇

用）

③試行雇用助成事業

・国が実施するトライアル雇用事業を行う事業主に対して、市が上乗せ交付する。

■学校施設耐震化対策・改修事業の実施

事業費　9億2568万円

①烏山中学校校舎補強・改修事業

②烏山小学校体育館改築事業

■子育て支援、高齢者及び障がい者福祉支援対策の充実

事業費　6億8732万円

①こども医療費の中学3年生まで拡大

②5歳児等発達支援事業、臨床心理士の採用

③股関節脱臼検診補助金

④子ども手当給付金事業

⑤障害者及び高齢者福祉タクシー事業

⑥特別養護老人ホーム建設（上境29ベット）及び認知症グループホーム建設（滝田18人）事業の支援

■道路整備事業の推進（市道13路線）

事業費　8億7500万円

■エコキュート設置事業の推進

事業費　472万円

・住宅用設置エコキュート（CO2冷媒ヒートポンプ給油器）購入費の補助事業

■農商工連携、観光対策事業の推進

事業費　2224万円

■教育・文化の推進

事業費　1億1042万円

①特色ある地域教育力の向上

②国指定文化財の保存活用

■定住促進及び企業誘致の推進

事業費　6329万円

■水道施設の拡充事業の推進（愛宕台配水池築造工事）

事業費　1億2010万円

■高齢者生活支援地域対策モデル事業の検討

■行政改革・廃止・見直し事業

①一般職員の計画的な削減

②特別職の給料を引き続き、市長10㌫、副市長7㌫、教育長5㌫削減

③議員定数の見直し　20人から18人へ

④団体運営費補助金の削減及び事業費補助金等へ移行の見直し

⑤消防団組織（本部部長、分団長、副分団長）の統合

⑥議会だより発行の見直し

ひ

平成22年度の重点事業

■居心地のよい安全なまちづくり

事業	金額
・地域ＩＣＴ利活用モデル構築事業（児童見守りシステム、健康管理システム、防災システムの連携）	3,255万円
・定住促進奨励金事業	2,507万円
・道路整備事業（市道13路線、林道1路線）	8億9,331万円
・消防施設整備事業	2,628万円
・橋梁長寿化修繕計画策定事業（橋長15m以上の橋の点検事業）	732万円※
・愛宕台配水池築造事業（水道事業）	1億2,010万円※

■安心して暮らせる思いやりのまちづくり

事業	金額
・子ども手当給付金事業（中学3年生まで1人当たり月額13,000円支給、6月・10月・2月支給月）	4億4,813万円※
・こども医療費助成事業（小学校終了→中学校終了まで拡充）	6,528万円
・高齢者福祉タクシー事業	309万円
・敬老会、敬老福祉年金等支給事業	1,785万円
・老人クラブ、福祉バス運行等事業	1,140万円
・障害者福祉タクシー事業	518万円
・特別養護老人ホーム（上境29ベット数）及び認知症グループホーム（滝田18人）支援事業	1億2,775万円※
・妊婦健診事業の拡充（14回まで無料）	1,728万円
・こんにちは赤ちゃん祝金支給事業	2,000万円
・股関節脱臼検診助成事業（股関節脱臼検診費用の助成、補助額2,000円）	36万円※
・放課後児童健全育成事業	2,402万円
・女性特有のがん検診推進事業（20·25·30·35·40歳は子宮頸がん、40·45·50·55·60歳の人は乳がん検診の無料クーポン券·検診手帳を交付）	393万円※
・後期高齢者医療制度事業	3億3,085万円

■人と文化を育むふれあいのまちづくり

事業	金額
・小学1·2年生に学習指導職員及び生活指導職員配置事業	5,094万円
・奨学金給付事業（高校生·短大生·大学生対象、給付方式）	390万円
・英語コミュニケーション推進事業	2,702万円
・サタデースクール事業	530万円
・烏山中本校舎補強・改修事業（平成22·23年の2か年工事）	6億9,504万円※
・烏山小体育館改築事業（平成21·22年の2か年工事）	2億3,064万円
・全市花公園づくり推進事業	80万円
・文化財調査事業（烏山城確認調査）	1,442万円
・長者ヶ平官衙遺跡保存事業（平成21年2月12日付国指定史跡に決定）	692万円

■活力あるにぎわいのまちづくり

事業	金額
・企業立地奨励金	3,822万円
・商工振興資金貸付事業	1億2,601万円
・試行雇用助成金事業（国が実施するトライアル雇用事業を行う事業主に対して、市が上乗せ交付する）	180万円※
・地産訪消推進事業（農業団体の支援事業及び農商工の事業の推進と連携を図り、ミニ道の駅事業の展開、新事業創出支援事業での東京都豊島区に出展して交流·PR活動等の事業を進める）	1,335万円
・とちぎ食の回廊づくり推進事業（食のブランド化·イメージアップ事業。茂木町から那珂川町の国道293号線を八溝そば街道と位置付けし、県内の街道協議会と連携して事業を進める）	20万円
・新事業創出支援事業	451万円
・観光振興対策事業（地産訪消事業連携事業、100万人観光都市を目指して）	1,047万円
・県単独土地改良事業	1,941万円
・森林整備林道事業	1,831万円

■自然や環境を大切に次代へつなぐまちづくり

事業	金額
・エネルギー対策事業（エコキュート設置費補助金）	472万円※
・元気な森づくり事業（森林環境税交付事業）	571万円
・イノシシ捕獲促進強化事業	182万円

■市民とともにあゆむ行政経営

事業	金額
・まちづくり団体支援事業	720万円
・コミュニテイ助成事業（大桶自治会公民館建設·元田町お囃子太鼓新調への助成）	1,330万円※
・旅券発給事業（パスポート発行を10月1日から実施する費用）	371万円※

※印は平成22年度新規事業

一般会計当初予算は8.6％増の124億6,000万円

平成22年度予算は、一般会計と8つの特別会計及び企業会計で編成しています。一般会計と8つの特別会計の予算総額は、189億96 80万円で、昨年度の当初予算と比較すると5.9ﾊﾟｰｾﾝﾄ、10億5320万円の増額となりました。

そのうち一般会計の増額は、学校施設耐震化対策事業、雇用を含んだ経済対策事業及び子ども手当給付金実施に伴い積極型予算編成によるものです。

特別会計は、総額65億3680万円、1.0ﾊﾟｰｾﾝﾄの増で、主に国民健康保険特別会計（事業勘定）、介護保険特別会計の増額が要因となります。

企業会計の水道事業は、収益的収支と資本的収支の支出合計額が9億7600万2千円で、昨年度より7.7ﾊﾟｰｾﾝﾄの減少。これは、配水管・送水管等の布設整備費や企業債元金の繰上償還の減少などによるものです。

■一般会計歳入

歳入については、市税が主に個人・法人市民税等の1億6710万4千円、5.6ﾊﾟｰｾﾝﾄ減（前年度比）の28億1516万9千円を計上しました。景気後退により2年間で2億5782万7千円、8.4ﾊﾟｰｾﾝﾄ減額になっています。

地方譲与税は、自動車重量譲与税の譲与割合が改正されますが、1100万円、7.6ﾊﾟｰｾﾝﾄ減を見込み1億3300万円としました。

地方交付税は、実質的な地方交付税が過去最高額を確保することから、前年度と比べ3億6000万円、9.4ﾊﾟｰｾﾝﾄ増の42億1000万円を計上しました。

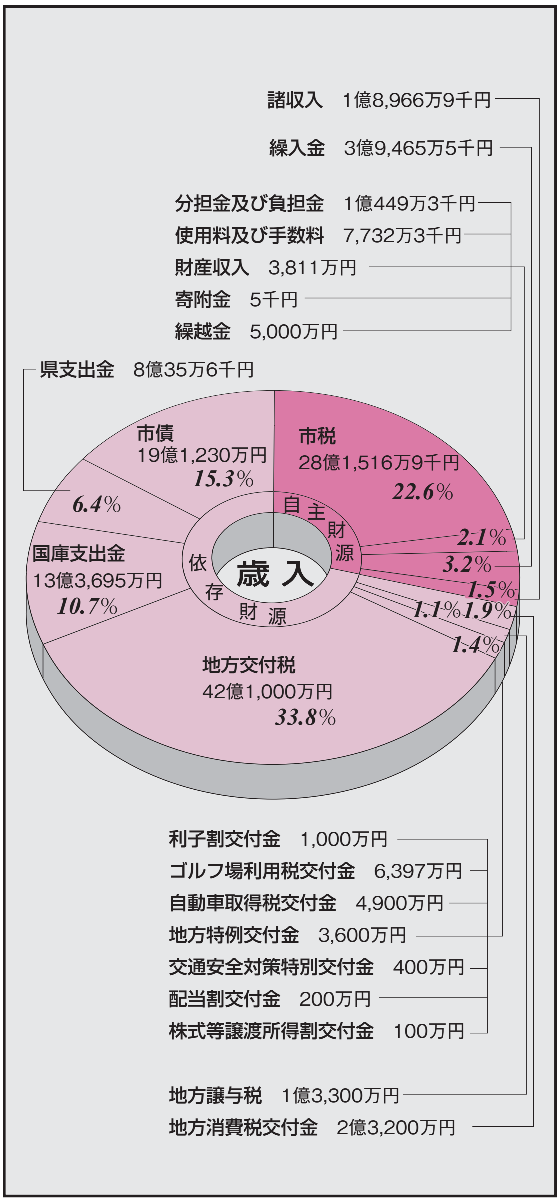
国庫支出金は主に、子ども手当給付金創設による子ども手当負担金2億8189万1千円増、烏山小・中学校耐震化対策事業実施に伴う公立学校施設整備費補助金6283万8千円増等、3億2520万1千円、32.1ﾊﾟｰｾﾝﾄ増の13億3695万円を計上いたしました。

県支出金は、主に新規の介護基盤緊急整備等臨時特例事業補助金1億2775万円及び緊急雇用創出事業費・ふるさと雇用再生特別事業費補助金1億1656万9千円の増により2億3658万5千円、42.0ﾊﾟｰｾﾝﾄ増の8億35万6千円を計上いたしました。

繰入金（基金）については、財政調整基金等からの繰入れの減により前年度と比べ9674万1千円、19.7ﾊﾟｰｾﾝﾄ減の3億9465万5千円を計上しました。

市債は、前年度より3億5680万円、22.9ﾊﾟｰｾﾝﾄ増の19億1230万円で、その要因は継続事業の烏山小学校体育館改築事業、新規事業で烏山中学校校舎補強・改修事業や、市道整備事業等の拡充に伴う合併特例債12億3930万円及び臨時財政対策債6億円を計上いたしました。

この結果、一般会計歳入のうち自主財源は29.4ﾊﾟｰｾﾝﾄで、依存財源は70.6ﾊﾟｰｾﾝﾄとなりました。



■一般会計歳出

歳出予算は、行財政改革の計画実行を断行するとともに、事務事業の評価を行い、総合計画の目標実現のため「選択と集中」を基本とした予算としました。

議会費は、前年予算比3.5％減ですが、これは、議員定数が2名減の18名によるものです。

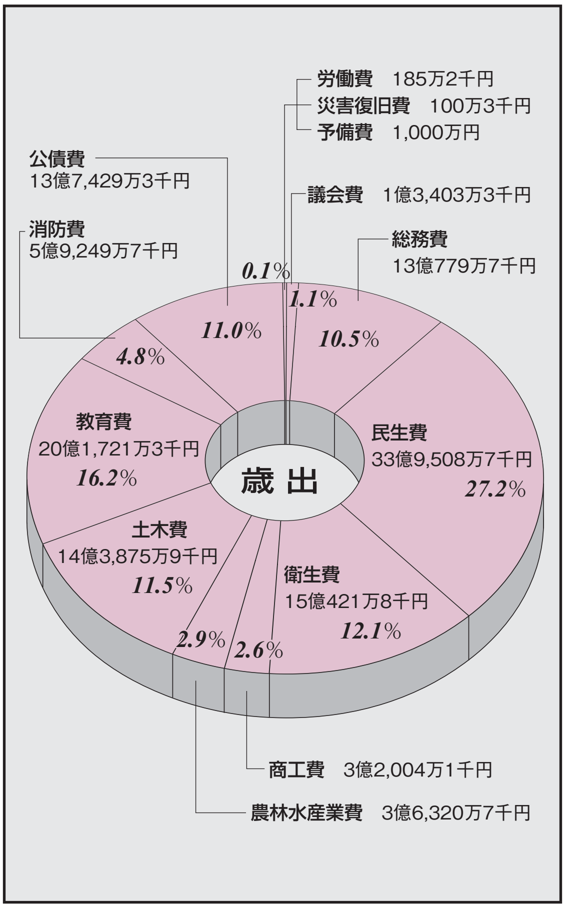
総務費は3.8ﾊﾟｰｾﾝﾄ増で、主なものは、固定資産税の評価替及び課税客体事業並びにパスポート発給事業が加わり、さらに、合併後5年が経過することに伴う住・税情報機器と戸籍電算システム更新事業費、また、那須烏山市議会議員選挙費、参議院議員選挙費や国勢調査費等です。

民生費は、15.6ﾊﾟｰｾﾝﾄ増で予算総額の第1位を占める27.2ﾊﾟｰｾﾝﾄになっています。これは、新規の子ども手当給付金事業及び介護基盤緊急整備等臨時特例事業によるものが主で、障害者支援事業や五歳児発達相談事業の拡充など子育ての支援事業、こども医療助成費の中学3年生まで実施や私立保育園施設運営委託事業のほか、介護保険特別会計繰出金等です。

衛生費は9.2ﾊﾟｰｾﾝﾄ増で、主な要因は新規のエコキュート設置補助事業、広域行政事務組合のごみ処理

一般会計

22年度　124億6,000万円
21年度　114億7,000万円
差　引　　9億9,000万円増



特別会計

■国民健康保険（事業勘定）	
22年度	33億7,920万円
21年度	33億　520万円

■国民健康保険（施設勘定）	
22年度	8,690万円
21年度	8,600万円

■熊田診療所	
22年度	5,160万円
21年度	4,600万円

■老人保健	
22年度	60万円
21年度	350万円

■後期高齢者医療	
22年度	3億　600万円
21年度	2億6,610万円

■介護保険	
22年度	21億6,210万円
21年度	20億4,240万円

■農業集落排水事業	
22年度	6,690万円
21年度	6,910万円

■下水道事業	
22年度	3億8,300万円
21年度	4億3,070万円

■簡易水道	
22年度	1億　50万円
21年度	2億2,460万円

企業会計

■水道事業	22年度	21年度
□収益的収入	5億6,190万6千円	5億9,061万5千円
□収益的支出	5億2,915万4千円	5億7,071万9千円
□資本的収入	1億9,851万2千円	2億4,502万6千円
□資本的支出	4億4,684万8千円	4億8,616万4千円

施設延命化事業負担金及び特別会計繰出金等です。

労働費は、新規に雇用対策として試行雇用助成金180万円を計上しました。

農林水産業費は、16.4パーセント減で、主な事業は農地・水・農村環境保全向上対策事業や県単土地改良事業及びイノシシ捕獲促進強化事業等です。

商工費は、13.7パーセント増で、これは新たに消費生活センターの設置費が加わり、また、企業誘致事業や中小企業融資支援事業、新事業創出支援事業（新規に農商工連携事業推進協議会を設置）を強化したものです。

土木費は7.6パーセント増で、これは道整備交付金及び合併特例債を活用した道路整備事業費及び新規の狭あい道路拡幅事業や橋梁長寿化修繕計画策定事業費です。

消防費は、3.1パーセント増で主に、常備消防費（広域行政事務組合負担金）や、年次計画で進めている小型ポンプ自動車の更新や防火貯水槽築造工事等であります。

教育費の33.4パーセント増は、継続の烏山小学校体育館改築事業に、新たに烏山中学校校舎補強・改修事業が加わったことによるものです。また、特色ある教育の一環であるサタデースクール事業、英語コミュニケーション事業及び国指定の山あげ行事や長者ケ平官衙遺跡等の保存事業並びに地域活動事業として公民館事業やスポーツ振興対策費等を計上しました。

以上が目的別の歳出状況ですが、性質別では、人件費が24億75万3千円と最も多く、次いで補助費等の23億2335万2千円、扶助費16億2196万6千円の順となりました。

■特別会計

国民健康保険の事業勘定は、33億7920万円で昨年度より2.2パーセント増で財源不足を国民健康保険の財政調整基金から繰り入れました。

診療施設勘定は、1.0パーセント増の8690万円です。熊田診療所は、12.2パーセント増の5160万円としました。老人保健は、平成20年4月から後期高齢者医療制度の施行に伴う清算により82.9パーセント減の60万円としました。75歳以上の人を対象とする後期高齢者医療が15.0パーセント増の3億600万円。介護保険は、認定者及び介護サービス利用者の増を見込むなど5.9パーセント増の21億6210万円としました。

農業集落排水事業（興野地区）は、3.2パーセント減の6690万円。烏山中央処理区と南那須処理区がある下水道事業は、11.1パーセント減の3億8300万円としました。

簡易水道は、市債元金の繰上償還金の減が主な要因で、55.3パーセント減の1億50万円としました。

■企業会計

水道事業は、水道料金や補助金などの収益的収入が4.9パーセント減の5億6190万6千円。施設維持管理費や人件費などの収益的支出も7.3パーセント減の5億2915万4千円としました。

一般会計繰出金や企業債などの資本的収入は、19.0パーセント減の1億9851万2千円。施設等の建設改良費などの資本的支出は8.1パーセント減の4億4684万8千円です。

第２回市議会

国保税条例やこども医療費助成条例を一部改正

こども医療費助成を中学3年生まで拡大

平成22年第2回那須烏山市定例会が、3月2日から16日までの15日間の日程で開かれ、後期高齢者医療制度の廃止予定に伴う国民健康保険税条例や対象年齢を中学3年生までに拡大するこども医療費助成条例など条例の一部改正と廃止、旅券（パスポート）の申請・交付事務の実施に伴い収入印紙等を取り扱うための条例など5つの条例の制定、平成22年度当初予算と平成21年度補正予算など43議案と発議1件、決議1件を全て原案どおり可決しました。また、報告1件を承認し、請願書1件を採択し、意見書2件を提出しました。主な内容は、次のとおりです。

なお、3月3日から2日間行われた一般質問の内容など、詳しくは議会事務局（☎０２８７―88―７１１４）までお問い合わせください。

平成22年度当初予算

平成22年度の一般会計と８つの特別会計及び企業会計の当初予算が決まりました。一般会計の予算総額は１２４億６０００万円です。特別会計は、国民健康保険事業勘定33億７９２０万円、国民健康保険施設勘定８６９０万円、熊田診療所５１６０万円、老人保健60万円、後期高齢者医療3億６００万円、介護保険21億６２１０万円、農業集落排水事業６６９０万円、下水道事業3億８３００万円、簡易水道事業1億50万円です。その他、公営企業の水道事業など詳しくは2〜5ページをご覧ください。

平成21年度補正予算

平成21年度補正予算は、一般会計の歳入・歳出を1億３１０３万円増額して１２７億２１７９万７千円としました。これは、固定資産税客体整備事業費や私立保育施設運営委託事業費、生活保護扶助費、新型インフルエンザ予防接種助成事業費の確定・精算に伴い減額する一方、事務事業の精査・確定等に伴う一般財源充当額の減額を財政調整基金に積み立てたことや平成20年度生活保護費国庫負担金精算金等を措置し、新規事業の競争力強化生産総合対策事業費（JA那須南種子センター増強整備補助金）及び国の第二次補正予算による「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」事業の自然休養村整備事業費、市単独林道整

国民健康保険税の減免の経過措置として、社会保険の被保険者が後期高齢者医療制度へ移行した際、その被扶養者であった方が新たに国民健康保険の被保険者になった場合に2年間の緩和措置が講じられており、これを後期高齢者医療制度の廃止まで延長するため、今回「国民健康保険税条例」の一部を改正しました。また、こども医療費助成条例の一部改正については、これまで小学6年生までを対象としてきたものを、定住促進と子育ての更なる負担軽減を図るため、対象を中学校修了まで拡大し、また持続可能な制度とするため入院時食事療養費を助成対象外とするものです。

今年10月から パスポート交付事務始まる

平成22年10月1日より、栃木県内全市町一斉に旅券（パスポート）の申請・交付事務の取り扱いが始まることに伴い、市役所内で申請に必要な収入印紙及び栃木県収入証紙を取り扱うため、「収入印紙等購買基金設置及び管理条例」を制定しました。

備事業費、こぶしが丘遊歩道整備事業費、富士見台工業団地線路肩整備事業費などを新たに計上したためです。

特別会計では、保険給付費などの補正で国民健康保険の事業勘定を33億5539万8千円（1813万9千円増額）に、医薬材料費の不足などのため診療施設勘定を1億2718万8千円（109万1千円増額）とし、七合診療所医師住宅整備事業費3112万4千円を繰り越しました。医薬材料費の不足などにより熊田診療所を5277万8千円（182万5千円増額）に、医療給付費等の精査により老人保健を2609万8千円（208万4千円減額）に、保険基盤安定制度負担金の決定に伴う増額などで後期高齢者医療を2億6792万3千円（59万5千円増額）に、介護給付費の精査などで介護保険を21億3464万4千円（3568万9千円増額）にしました。そのほか、職員人件費の精査により農業集落排水事業を6858万6千円（51万4千円減額）に、

職員人件費の精査などにより下水道事業を4億2775万円（395万円減額）に、施設整備費などの精査により簡易水道事業を2億4625万4千円（594万8千円減額）にしました。

企業会計の水道事業では、水道使用料等の減額などにより収益的収入5億7304万7千円（1756万8千円減額）、同支出5億7736万3千円（194万6千円減額）に、また企業債の繰上償還に伴う償還元金の精査により資本的収入2億5373万6千円（871万円増額）、同支出4億9578万9千円（852万2千円増額）としました。

その他条例の制定と一部改正等

携帯電話不感地域の解消に向けた移動通信用鉄塔施設の整備に要する費用に充てる分担金を徴収するため「移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例」を制定しました。

◇

市職員で組織される職員互助会について、その設立を明確に位置づけ、経費の一部負担、事務の従事、施設の使用等を適正なものとするため「職員互助会条例」を制定しました。

◇

行政財産の目的外使用に対し使用料の統一的な基準を設け、財産管理の適正化と自主財源の確保を図るため「行政財産使用料条例」を制定しました。

◇

市が管理する駐車場と駐輪場を、市民が利用する公の施設として位置づけ、総括的に管理するため「市民駐車場設置、管理及び使用料条例」を制定しました。

◇

行政財産使用料条例の施行に伴い、当該条例に規定する使用料との調整を図るため「保健福祉センター設置、管理及び使用料条例」など関係する6つの条例を一部改正しました。

◇

これまでの指定管理者制度の運用における課題を整理し、その規定の内容について補完すべき事項や明文化すべき事項を一括して整理するため「公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」を含む15の条例を一部改正しました。

◇

情報公開や個人情報保護の審査機関である市情報公開及び個人情報保護審査会から出資法人等の情報公開に係る適用範囲の拡大についての提言に伴い「情報公開条例」を一部改正しました。

◇

平成22年度、人事異動等により職員数が変更になることに伴い、「職員定数条例」を一部改正しました。

◇

産業医、予防接種医、乳幼児健康診査嘱託医、乳幼児健康診査嘱託歯科医、消費生活相談員を新たに非常勤特別職として位置づけ、報酬を設定するため「非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例」を一部改正しました。

◇

時間外労働の割増賃金率等に関する労働基準法の改正に伴い「職員給与条例及び那須烏山市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例」を一部改正しました。

◇

審議会の名称及び所掌事務並びに組織等の変更に伴い「総合計画審議会設置及び運営条例」を一部改正しました。

◇

土壌汚染対策法が一部改正されたことに伴い「土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」を一部改正しました。

◇

法定外公共物使用料の一部について道路占用料との整合性を図るため「法

定外公共物管理及び使用料条例」を一部改正しました。

◇

行政財産使用料条例の施行に伴い、当該条例に規定する使用料との調整を図り、また大桶運動公園の施設使用料を運動公園施設設置、管理及び使用料条例へ移行するため「都市公園設置、管理及び使用料条例」を一部改正しました。

◇

行政財産使用料条例の施行に伴い、当該条例に規定する使用料との調整を図り、また烏山中央公園や市役所南那須庁舎前公園を本条例に移行するため「市民公園設置及び管理条例」を一部改正しました。

◇

都市公園設置、管理及び使用料条例の一部改正に伴い、大桶運動公園を本条例の運動施設として位置づけ、使用料など所要の規定の整備を行うため「運動公園施設設置、管理及び使用料条例」を一部改正しました。

◇

低開発地域工業開発促進法に基づく課税免除の地区指定及び経過措置期間が満了するため「低開発地域工業開発地区指定に伴う固定資産税課税免除に関する条例」を廃止しました。

◇

議会常任委員会委員の定数や各委員会の傍聴の取扱いを変更するため、議員発議により「議会委員会設置及び運営条例」を一部改正しました。

その他議決事項

栃木市及び大平町、藤岡町、都賀町の合併に伴い「栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更について」及び「栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について」をそれぞれ原案のとおり可決しました。

◇

那須地区及び塩谷広域行政事務組合と協定を結び小児救急医療支援事業を実施することに伴い「南那須地区広域行政事務組合規約の変更について」を原案のとおり可決しました。

報告事項等

大金地内で発生した自動車物損事故について、専決処分の報告がありました。損害賠償額の決定及び和解が成立し、賠償額は2万6千円です。

市議会議長あて提出された「日米FTA断固阻止に関する陳情書について」を採択し、関係行政庁に意見書を提出しました。

また、「核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書について」を原案のとおり可決し、国会及び関係行政庁に意見書を提出しました。

決議案の「暴力団追放に関する決議について」を原案のとおり可決しました。

大桶運動公園をスタートする選手たち。

回なすみなみ 鮎駅伝 競走大会

■大会結果

①作新学院B（宇都宮市）②Around35（宇都宮市）③作新学院A（宇都宮市）④茶居舞（那須塩原市）⑤茂木高校A（茂木町）⑥小川那珂クラブ（那珂川町）⑦那須塩原市陸協（那須塩原市）⑧矢板A（矢板市）⑨ぶんぶんクラブ（宇都宮市）⑩馬頭ゆりがね会（那珂川町）⑪大田原RC（大田原市）⑫茂木高校B（茂木町）⑬花立アスリートクラブ（那須烏山市）⑭JR宇都宮A（宇都宮市）⑮東京電力栃木（鹿沼市）⑯HGT韋駄天（さくら市）⑰荒川RC（那須烏山市）⑱今市高校（日光市）⑲落合陸上クラブA（日光市）⑳下江川RC（那須烏山市）㉑風走RC（日光市）㉒石橋高校RC（下野市）㉓黒羽高校（大田原市）㉔那珂川町体協陸上部（那珂川町）㉕高根沢町陸上クラブ（高根沢町）㉖落合陸上クラブB（日光市）㉗生涯ふれあい駅伝クラブ（大田原市）㉘塩谷町体協駅伝チームA（塩谷町）㉙塩谷町体協駅伝チームB（塩谷町）㉚NTT栃木RC（那須烏山市）㉛高峰RC（那須烏山市）㉜吉野工業所AC-A（那珂川町）㉝JR宇都宮B（宇都宮市）㉞TEPCO氏家（さくら市）㉟吉野工業所AC-girls+（那珂川町）

第8回 若

第8回なすみなみ若鮎駅伝競走大会（南那須陸上競技協会主催）が2月28日、大桶運動公園を発着点に、市と那珂川町の那珂川沿いを一周する6区間25キロメートルのコースで開かれ、県内各地から35チームが参加し、懸命にたすきをつなぎました。

この大会は、那須烏山市と那珂川町の友好と駅伝競技の普及を目的に開催されているもの。開会式であいさつに立った小川成一会長は、参加チームの選手たちに歓迎と激励の言葉を送りました。

この日は朝から冷たい雨が降り、あいにくの天候となりましたが、選手たちは午前10時に大桶運動公園をスタート。降りしきる雨を物ともせず熱戦を繰り広げました。

レースは中盤、4区で「作新学院B」が区間賞の走りを見せトップに立つと、5区でいったん「Around35」にトップを譲るものの、最終区で逆転し1時間19分47秒の好タイムでゴールし、見事初優勝を飾りました。なお、市内から参加した5チームでは「花立アスリートクラブ」が昨年と同じく13位、「荒川RC」が17位と強豪チームがそろうなか健闘しました。

また大会では、第2中継地の興野農産物直売所でとん汁が、またゴールではけんちんうどんが振る舞われ、選手たちの冷えた体を温めていました。

第2中継所でたすきをつなぐ選手。

烏山城跡発掘調査

現地説明会に143人参加

市教育委員会は3月13日、城山の烏山城跡で、これまでの発掘調査の成果を紹介する現地説明会を開催し、県内外から143人の参加がありました。

これは、重要な文化遺産である烏山城跡の保存を図る目的で行われている遺跡の範囲確認調査の成果を公開し、遺跡への理解を深めてもらおうと開催したもの。今回の調査では、南北約70メートル、東西60メートルある古本丸内を十字に試掘し、その過程で大規模な城普請（土木工事）の跡が確認されました。また、土師質土器、陶磁器、瓦などの破片、鉄製品、銅銭などが出土しました。

当日は、春を感じる暖かな土曜日となり、集まった参加者は、途中休憩をとりながら寿亀山神社付近から現地までの山道を約30分かけてゆっくりと登りました。現地では、市の担当職員から詳しい説明を受けながら写真を撮ったり、質問するなどの姿が見られ、その関心の高さが伺われました。

福島県北塩原村から家族3人で参加した渡辺智さんは「お城めぐりが好きで、今日はホームページを見てきました。とてもわかりやすい説明でよかったです」と話していました。

なお、市教育委員会では、この調査を平成24年度まで行い、今後は古本丸から本丸（二の丸）にまで調査範囲を広げていく予定です。

上は、出土した土師質土器／左は石垣の説明を聞く参加者。

試掘した現場を確認する参加者。

現地説明会資料より転載
正保城絵図　烏山城
独立行政法人国立公文書館所蔵

国は平成21年度補正予算によって、日本のがん検診受診率を50％に上げることを目標に、女性特有のがん対策を講じました。
これにより、
ある特定の年齢に達した女性は
無料で
女性特有のがん検診が受けられるようになりました。

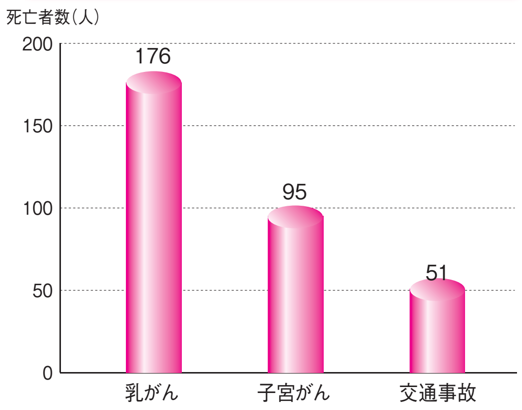
婦人がん検診を受けて健康チェック！

女性特有のがん の状況

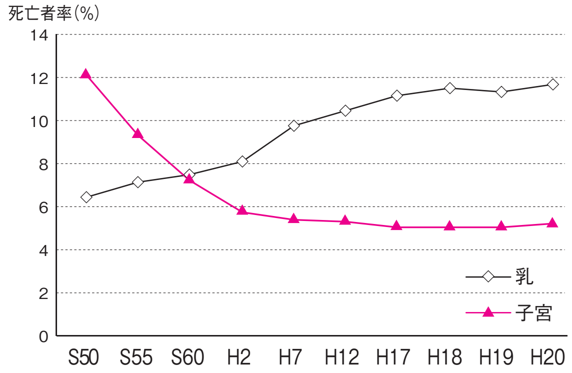
1年間に乳がん・子宮がんで亡くなる女性は、交通事故で亡くなる女性よりも多いことをご存知ですか？

乳がん・子宮がんによる死亡者数の推移をみると、子宮がんの死亡者数は横ばいですが、乳がんによる死亡者数は年々増加しています。

乳がん・子宮がんによる死亡者数（栃木県2007年）



栃木県の乳がん子宮がんによる死亡率の推移



※部位別にみた年齢調整死亡率（人口10万対）の年次推移

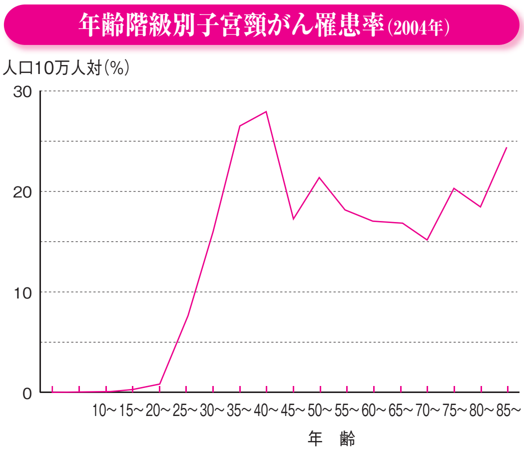
乳がん が急増

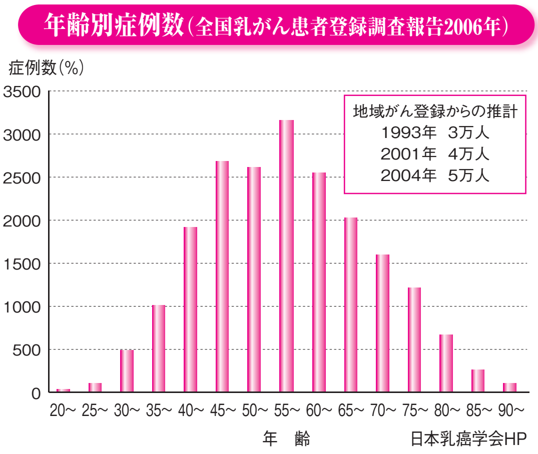
乳がんにかかりやすい年代をみると全国では40代から増加し50代後半がピークとなっています。

また、推定患者数が3万人から4万人に増加するまで8年かかっていたところ、わずか3年で5万人を超えており、乳がんの急増ぶりがうかがえます。

子宮頸がんにかかりやすい年代をみると、かつては高齢の女性に多かったのですが、近年、20代と30↖

代の女性に増加傾向が見られ、原因として、性感染症のヒトパピローマウィルスの影響が一因として考えられています。そのため、国は平成21年10月に予防ワクチンを承認しました。





月に1度は乳がんの自己チェックを!

自己チェック✔の方法

乳房の異変に気づくためには、日頃から乳房の状態を把握しておくことが大切です。チェック日を決めて月に１度定期的に実行しましょう。月経が終わって１週間以内の乳腺が最も安静な頃が理想的。閉経後は、覚えやすい日に決めましょう。

☑まずは目でチェック

❶両手を下ろした楽な姿勢で鏡の前に立ち、乳房の形、大きさ、皮膚のでっぱりやくぼみ、乳頭の形に変化がないかチェック。

❷両手で腰を強く押さえて、❶と同様にチェック。

❸両手を頭の後ろで合わせて❶と同様にチェック。

鏡にうつす角度を変えてみると効果的。

☑しっかり触ってチェック

お風呂やシャワーのときに

●左乳房には右手、右乳房には左手を使う。

●３、４本の指をそろえ、指の腹でしこりがないか調べる。

●石けんがついた手でぬれた乳房をよく触る。

●わきの下から乳首に向かって、渦巻きを描くように指をすすめる。

横になってチェック

●調べる乳房側の肩の下に折ったタオルなどを入れ、乳房を平たくしてから調べる。

●調べる乳房側の腕を曲げ、手は頭の後ろに。

●３、４本の指をそろえ、指の腹でしこりがないか調べる。

●わきの下から乳首に向かって、渦巻きを描くように指をすすめる。

集団検診を実施

平成22年度に実施する女性特有のがん検診の対象となる女性には後日、通知をいたします。

また、那須烏山市では乳がん検診は30歳から、子宮頸がん検診は20歳からを対象に集団検診を実施しており、平成22年度は11回予定しています。1回に受診できる人数に限りがありますので、予約制としています。2月に実施した希望調査において、まだ予約をされていない人は、この機会に日程（広報お知らせ版または市ホームページに掲載）を確認のうえ、電話等で申し込みください。

自分の体の状態を知り、健康づくりにつとめましょう。

【問い合わせ】
健康福祉課 健康増進係
☎0287―88―7115

七合中学校

荒川中学校

下江川中学校

卒業・卒園

おめでとうございます

夢や希望を胸に
思い出の学びやを
巣立つ

冬の寒さと春の暖かさが交互に訪れた3月、市内の小・中学校、幼稚園そして保育園では、相次いで卒業式が行われ、あらたな旅立ちに夢や希望を抱いた多くの卒

江川小学校

境小学校

七合小学校

にこにこ保育園

烏山幼稚園

つくし幼稚園

が、思い出がたくさん詰まった学びやを後にしました。

今年の卒業式は、11日に中学校を皮切りに、19日に小学校、23日に幼稚園、24日と25日には保育園で行われました。

中学校の卒業生は、4校あわせて昨年より36人減の269人。43人の卒業生を送り出した下江川中の卒業式で、卒業生を代表して小貫実紅さんが「明日からはそれぞれが自分で選んだ道を歩み始めます。歩んでいく道はそれぞれ違うけれど、共に過ごしてきた日々は決して忘れません」と答辞を述べました。

また、小学校では5つの小学校をあわせた卒業児童は、昨年より19人多い267人。七合小と興野小で学んだ卒業生41人を送り出した七合小学校の卒業式で、卒業生と在校生が別れの言葉を贈りあう中、卒業生だけでなく在校生のなかにも目に涙を浮かべる児童の姿が多く見られました。

市立の2つの幼稚園と4つの保育園では、園児134人が卒園し、4月から元気いっぱいに小学校へ通い始めます。

広報「那須烏山」では、日程が重なったため全小中学校の卒業式は取材できませんでしたが、一部を写真で紹介します。

七合保育園

境保育園

すくすく保育園

長寿・受賞

おめでとうございます

西原ミイさん（中央1）満100歳 おめでとうございます。

大谷市長や家族に囲まれて記念撮影。

中央1丁目の西原ミイさんが、3月23日に満100歳を迎えました。

西原さんは、少し耳が遠いものの病気もなくとても健康なおばあちゃん。食事は1日3食、家族と同じものをしっかり食べ、毎日編み物を楽しみ、時には9か月になるひ孫のお守りをするそうです。

20歳の頃、高根沢町から嫁いだ西原さん。8人の子どもを育てながら、自営業のクリーニング店でアイロン掛けをし、その作業を82歳まで続けていたそうです。また、70歳から80歳ぐらいまでの約10年間、アメリカやイギリス、フランス、ドイツなど数多くの国を旅した時のことを懐かしそうに話してくれました。

誕生日の3月23日は、週1回のデイサービス。この日、大谷範雄市長が野上のほっとからすやまデイサービスセンターを訪問し、家族や同センター関係者が見守る中、お祝いの花束や祝詞などが贈られると、周りから暖かい拍手が送られました。

「この施設に来て、みんなとおしゃべりすることがとても楽しみです」と話す西原さん。いつまでも元気で長生きしてください。

七合小6年の坂主成美さん 全国学芸科学コンクールで銅賞

受賞の喜びを話してくれた坂主さん。

このほど、第53回全国学芸科学コンクール（旺文社主催／内閣府・文部科学省・環境省後援）の審査が行われ、読書感想文部門の小学生の部で七合小学校6年の坂主成美さんが、応募のあった1万4千2百点あまりの作品の中から、みごと優秀作に選ばれ銅賞を受賞しました。

このコンクールは、青少年の学術・科学及び文芸の振興奨励を目的に開催されているもの。今回は全11部門に対して、海外、そして日本全国から約7万3千点もの応募作品が集まりました。

受賞した坂主さんは、知人から紹介された本「もっと伝えたい・コミュニケーションの種をまく」を読み、感じたことを文章にしました。その感想文では「本当のコミュニケーション」と題し「心のつながりがもてることが本当のコミュニケーション。大切なのは自分の思いや気持ちを伝える中身だと思います」と書き綴っています。

本を読むことが好きで、よく図書館で借りるという坂主さん。この受賞には「全国コンクールだったのですごくうれしかった。この本を読んで障害者とのコミュニケーションについて勉強になりました」と話していました。

大沢長寿会 2年連続で最優秀賞に輝く

道路環境の美化を図るとともに、道路愛護思想の普及を目的に毎年開催されている道路愛護作業コンクール（栃木県道路愛護連合会主催）で、大沢長寿会がフラワー部門の最優秀賞を受賞しました。

同会は昨年に続き2年連続の受賞。道路や河川の清掃等に積極的に参加しながら、花の植栽についても4月から11月まで花々を絶やすことなく咲くよう工夫することによって、道路を行き交う人たちの心を和ませている点が大きく評価されました。

最優秀賞に輝いた「大沢長寿会」の花壇。

市消防団が組織再編

―女性消防団員制度を発足―

市の消防団は、4月から分団を従来の16分団から8分団の区割りへと統合し、併せて本部長階級の人員削減など団組織の再編を行ないました。
これは団本部役員自ら協議を重ね、より効率的で円滑な団運営を目指して取り組んだものです。

この4月から、本部部長以上の役員が次の方々になりました。（敬称略）

■団　長　興野一美
■副団長　大橋光一、中山茂
■本部部長　小川清、青木敏久、久郷敬久、池田忠市

今回、新たに任命された興野団長は、「団長という重責に身の引き締まる思いであります。地域の安全安心を守るために団員も努力してまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。」と話していました。

小堀前団長に感謝状

3月31日には、平成20年4月から市消防団団長を務めた小堀重光さん（60歳）が、これまでの功績が称えられ栃木県知事から感謝状が贈呈されました。

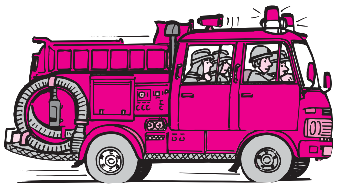
小堀さんは昭和47年に旧烏山町消防団に入団。以来、常に団員の模範となり、分団長、本部部長、副支団長の要職を歴任。平成5年には県知事から功労賞、平成20年には消防庁長官から永年勤続功労章を受章し、同4月からは市消防団団長として2年間指揮をとってきました。受賞した小堀さんは、「消防団を永年続けてこられたのは、健康であり、加えて家族の協力と地域のご理解があったからこそと感謝しています。今後、団員には、市民のための消防団であるとの自覚の基に、防犯防火を含めて更なるご尽力をお願いいたします」と話していました。

新団長　興野一美さん

前団長　小堀重光さん

女性消防団員5人が誕生

また、今年度から新たな消防力の担い手として女性消防団員制度を発足。入団の申込があった5人の辞令交付式が4月1日、市役所烏山庁舎会議室で行われました。今後の火災現場や防火啓発活動等での活躍が期待されます。市初の女性消防団員となった澤野さんは、「市として最初の女性消防団員とのことで、緊張する部分もありますが、今後多くの女性が団員として活躍したいと思えるように明るく楽しみながら団活動を頑張ります。」と話していました。



辞令交付式の様子。

消防ポンプ自動車等を更新

市は地域の安全安心を守るため、老朽化している消防ポンプ自動車等を更新し、該当消防団各部へ引渡しを行ないました。各団員ともその操作方法等を真剣な眼差しで学んでいました。今回更新した部は次のとおりです。

○第6分団第3部（小松秀幸部長）ポンプ自動車（22年経過）
○第7分団第1部（雫智行部長）小型動力ポンプ付積載車（22年経過）

新消防車両引渡し式の様子。

消防車寄贈に感謝の訪問

3月1日、長年消防団で使用した消防車両1台をペルーに寄贈することに対するお礼として、ファン・カルロス・カプニャイ駐日大使が大谷範雄市長を表敬訪問しました。大谷市長は「今後は、これを機会に子ども同士の交流などを検討したい」と言葉を送りました。

表敬訪問したファン・カルロス・カプニャイ駐日大使。

まちづくり研究会
今年度の活動成果を報告

県内の５大学等が那須烏山市の活性化に取り組む「まちづくり研究会」の１年間の活動を締めくくる報告会が３月７日、那須烏山商工会館で開かれ、市民や商工業関係者など約100人が参加しました。

当日は、同研究会の大久保忠且委員長（宇都宮共和大学副学長）が「学生の若いアイディアを市民に提供し、地元の皆さんと一緒にまちづくりに取り組んでいくのが当研究会の主旨です。活動をとおして、那須烏山市には大切な資源があることを市民に気づいてもらいたい」などとあいさつ。その後、足利工業大学の学生による研究発表に始まり、残る４大学等も今年度の活動成果を順次報告しました。

同研究会では、これまでの活動成果を基に、引き続き市の活性化に向けて研究を進めることにしています。

壇上であいさつをする大久保委員長。

なお、今回の各大学等の報告内容は次のとおりです。

○足利工業大学
・地方中小都市における地域資源を活用した地域振興に関する基礎的研究
・那須烏山市の近代化遺産を活用した学習プログラム案の作成
・地域資源を活用した那須烏山市中山間地域の活性化方策の検討

○国際医療福祉大学
・『協働』による那須烏山市の地域活性化を検討する

○小山工業高等専門学校・那須氏研究会
・那須烏山市と那須氏の歴史を探る

○宇都宮共和大学・宇都宮大学・女性団体連絡協議会等有志
・ワークショップで描く“夢のあるまちづくり”

○宇都宮共和大学
・烏山和紙の生産普及の支援のために

活動報告する足工大学生の加藤祐伴さん。

教育委員会会報

『第４四半期』１月～３月
事務局：学校教育課
☎0287−88−6222

★第１回教育委員会（１月21日）
・就学指定校の変更報告を承認
・区域外就学の許可を承認
・平成21年度那須烏山市教育費予算の補正を承認
・那須烏山市生涯学習団体事業補助金交付規程の制定を承認
・就学指定校の変更を承認

★第２回教育委員会（２月23日）
・区域外就学の許可報告を承認
・平成21年度那須烏山市教育費予算の補正を承認
・平成22年度那須烏山市教育費予算を承認
・要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認
・就学指定校の変更を承認

★第３回教育委員会（３月１日）
・平成22年度小・中学校職員定期異動方針を承認
・平成22年度地区市町教育委員会連合会の方向を承認
・区域外就学の協議を承認
＊栃木県財政健全化の組織体制のスリム化により、平成22年度南那須教育事務所が塩谷教育事務所に統合されることに伴い、南那須地区教育委員会連合会も塩谷地区教育委員会連合会と統合することとなる。

★第４回教育委員会（３月23日）
・平成22年度那須烏山市奨学生の決定報告を承認
・那須烏山市教育委員会関係職員の人事異動内示報告を承認
・区域外就学の許可報告を承認
・要保護及び準要保護児童生徒の認定報告を承認
・平成22年度小・中学校職員定期異動を承認
・那須烏山市社会教育指導員の任命を承認
・那須烏山市文化財保護審議会委員の委嘱を承認
・那須烏山市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の設置に関する規則の制定を承認
・那須烏山市立小中学校管理規則の一部改正を承認
・那須烏山市遠距離通学補助金等交付規則の一部改正を承認
・那須烏山市スクールバスの運転業務に従事する職員の勤務時間及び休憩時間並びに服務に関する規程の一部改正を承認
・那須烏山市立小中学校文書取扱規程の一部改正を承認
・区域外就学の許可を承認
・要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認
・就学指定校の変更を承認

那須烏山市 消費生活センターが開設されました

近年、悪質商法や振り込め詐欺、商品事故など、さまざまな消費者問題が発生しています。それらの不安から消費者を守り、消費生活の安定と向上を図るため、4月から消費生活センターが設置されました。

こんなときは…すぐにご相談ください！

契約や取引に関するトラブル

消費者トラブルに対応するため、「消費者契約法」や「特定商取引に関する法律」などに基づき、当センターが交渉方法の助言やあっせんなど様々な問題解決の手助けをします。

多重債務の相談

多重債務に陥ってしまった場合でも解決方法はあります。外部に漏れることはありませんので、安心してご相談ください。

苦情・相談

商品やサービスの品質や安全性、表示などについて疑問を感じたときにはご相談ください。

○場 所

市役所烏山庁舎 商工観光課内

○受付日及び時間

月曜日から金曜日（祝日及び年末年始の休日を除く）

午前：9時から正午まで

午後：1時から4時30分まで

○相談専用電話

那須烏山市消費生活センター

☎0287―83―1014

資格をもった相談員が相談に応じます。

消費生活コンサルタントの津久井多美子です。消費生活に関することなど、お気軽にご相談ください。

消費生活コンサルタントの津久井さん。

【問い合わせ】

商工観光課 商工係

☎0287―83―1115

市内54施設にAEDを設置

平成21年度、市は新たに各幼稚園や保育園など施設38か所にAED（自動体外式除細動器）を設置し、これにより設置施設は54か所になりました。

AEDは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になったときに、心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

市はこれまでに、市役所や小・中学校にAEDを設置してきました。今回の設置により、市民の安全・安心が更に高まり、一人でも多くの命が救われることが期待されます。

■AED設置施設等

市役所烏山庁舎・市役所南那須庁舎・市役所水道庁舎・保健福祉センター・烏山公民館・南那須公民館・烏山図書館・南那須図書館・境診療所・七合診療所・熊田診療所・こども館・烏山幼稚園・つくし幼稚園・すくすく保育園・にこにこ保育園・七合保育園・境保育園・烏山小学校・七合小学校・境小学校・荒川小学校・江川小学校・烏山中学校・七合中学校・荒川中学校・下江川中学校・レインボーハウス・南那須学校給食センター・烏山運動公園・大桶運動公園・緑地運動公園・烏山体育館・荒川体育館・野上体育館・向田体育館・東体育館・興野体育館・烏山武道館・南那須武道館・南那須運動場・やすらぎ荘・ベンチャープラザ那須烏山・山あげ会館・龍門ふるさと民芸館・観光物産センター・こぶしの湯・自然休養村センター・いかんべ記念館・農業会館・ふれあい交流体験館・イベント時携帯用3台

第38回 栃木県川柳大会

県内の川柳愛好者93人が参加した栃木県川柳大会が3月13日、保健福祉センターで開催されました。

この大会は、県川柳協会が主催する年に一度の大会で、市内在住の篠崎酔月（本名：篠崎昌久）氏が同協会長を務めることから、今回本市で開かれたものです。

大会は、「みやげ」や「吉報」など宿題8題と当日出題された「駄目」と「年金」により次々と句が読みあげられ、なかには「携帯で携帯さがす置き忘れ」など、よくある日常の出来事に思わず笑ってしまうような作品も。会場では、選句者から披露される数々の名句に大きな拍手が起きていました。

あいさつをする篠崎会長。

■市の工事請負等契約

（前月20日までの入札結果、単位は千円、250万円以上）

事 業 名	箇 所	業者名	金 額	工 期
七合診療所医師住宅新築及び診療所改修工事	中 山	㈱平野建設	28,297	3/2~8/31
小学校ICT環境整備工事	市 内	㈲村上電気工事	3,234	3/1~3/26
中学校ICT環境整備工事	市 内	㈱那須電気	2,562	3/5~3/26

入札等に関するお問い合わせは、総務課管財係☎0287-83-1111まで。

市職員の人事異動

市の職員数は289人になりました。

4月1日付けで、市職員の人事異動がありましたのでお知らせします。

那須烏山市の職員数は、昨年4月より6人減って289人(3月31日付けで11人退職。10月1日付けで医師を1人、4月1日4人新規配置。南那須地区広域行政事務組合派遣を除く)となりました。

なお、◎印は昇任、( )内は異動前の職、課内の並びは順不同です。

■総合政策課

◎参事兼総合政策課長國井豊(総合政策課長)
○総合政策室長小口久男(総合政策課主幹兼総合政策室長)
○総合政策室総合政策係担当課長補佐兼総括兼地域主権担当金子真寿(総合政策課課長補佐兼総合政策室総合政策係長)
○総合政策室総合政策係担当係長関雅人(総合政策課係長)
○主査鈴木康宏(市民課主査)
◎主査田代香織(総合政策課主任)
○財政係担当主幹兼総括堀江功一(総合政策課主幹兼財政係長)
○財政係担当係長川俣謙一(会計課係長)
◎財政係担当係長田代浩文(総合政策課主査)
○広報統計係担当係長兼総括大鐘智夫(上下水道課係長)
○総合政策課秘書係担当課長補佐兼総括水沼透(教育委員会事務局生涯学習課課長補佐兼南那須図書館長)

■総務課

◎参事兼総務課長駒場不二夫(教育委員会事務局学校教育課長兼学校給食センター所長)
○危機管理担当主幹高田功(総務課主幹兼消防交通係長)
○人事行政係担当主幹兼総括坂本正一(総務課主幹兼人事行政係長)
○人事行政係担当係長小口正一(総務課係長)
○管財係担当課長補佐兼総括神野久志(総務課課長補佐兼管財係長)
◎管財係担当係長石嶋賢一(総務課主査)
○消防交通係担当課長補佐兼総括木村清典(都市建設課課長補佐・地籍調査担当)
◎消防交通係担当係長平山茂樹(総務課主査)
◎主査篠崎孝光(農政課主任)

■税務課

◎参事兼税務課長鈴木傑(教育委員会事務局生涯学習課長兼南那須公民館長兼烏山郷土資料館長兼南那須歴史民俗資料館長)
○管理収税係担当主幹兼総括稲見賢一(税務課主幹兼管理収税係長)
○管理収税係担当係長益子ゆかり(税務課係長)
○主査鈴木達也(総合政策課主査)
◎市民税係担当主幹兼総括川俣馨(教育委員会事務局生涯学習課課長補佐兼烏山図書館長)
○資産税係担当課長補佐兼総括石川浩(税務課課長補佐兼資産税係長)
○税務会計係担当課長補佐兼総括黒崎秋子(税務課課長補佐・税務会計担当)

■市民課

◎市民係担当主幹藤沼美子(市民課課長補佐(市民担当))
○市民係担当課長補佐兼総括薄井時夫(市民課課長補佐兼市民係長)
○市民係担当課長補佐小堀幸男(教育委員会事務局生涯学習課課長補佐兼生涯学習係長)
○主任小堀久美(健康福祉課主任)
○国保医療係担当課長補佐兼総括両方裕(市民課課長補佐兼国保医療係長)
○国保医療係担当係長塩野育雄(都市建設課係長)
◎国保医療係担当係長黒尾明美(市民課主査)
○住民戸籍係担当主幹兼総括佐藤新一(市民課主幹兼住民戸籍係長)
○住民戸籍係担当主幹滝田洋子(市民課主幹(住民戸籍担当))
○住民戸籍係担当課長補佐佐藤加代子(市民課課長補佐(住民戸籍担当))
○主任各務卓馬(総務課主任)
○境診療所看護師主査佐藤京子(市民課境診療所主査)

■健康福祉課

◎福祉事務所長兼健康福祉課長樋山洋平(健康福祉課主幹兼社会福祉係長)
○社会福祉係担当課長補佐兼総括福田守(健康福祉課課長補佐・社会福祉担当)
○社会福祉係担当係長檜山裕子(総務課係長)
○社会福祉係担当係長鈴木幸枝(健康福祉課係長)
◎社会福祉係担当係長吉葉由喜子(健康福祉課主査)
○生活福祉係担当主幹兼総括平山正夫(健康福祉課主幹兼生活福祉係長)
◎生活福祉係担当主幹齋藤進(健康福祉課課長補佐(生活福祉担当))
○生活福祉係担当係長鈴木孝子(健康福祉課係長)
◎生活福祉係担当係長岡誠(健康福祉課主査)
◎生活福祉係担当係長塩野目敬章(健康福祉課主査)
○高齢いきがい係担当主幹兼総括兼高齢者生活支援対策担当網野　栄(健康福祉課主幹兼高齢いきがい係長)
○高齢生きがい係担当課長補佐鈴木容子(農政課課長補佐兼農地調整係長)
◎高齢いきがい係担当保健師副主幹兼高齢者生活支援対策担当稲葉節子(健康福祉課健康増進係長)
◎健康福祉課高齢生きがい係担当保健師係長大橋弘代(健康福祉課主査)
◎介護保険係担当主幹兼総括川俣秀夫(健康福祉課課長補佐兼介護保険係長)
○介護保険係担当係長佐藤智恵子(市民課係長)
○介護保険係担当係長高橋範子(健康福祉課係長)
○健康増進係担当保健師係長兼総括野崎真理子(健康福祉課係長)
○健康増進係担当係長福田勝喜(健康福祉課係長)
○健康増進係担当保健師係長高瀬陽子(健康福祉課係長)
○保健師主査海老原朋子(健康福祉課主査)
○保健師主査茂木真理(健康福祉課主査)

■こども課

○健康福祉こども課烏山分室担当課長補佐兼総括山村洋子(健康福祉課課長補佐兼健康福祉こども課烏山分室係長)
○健康福祉こども課烏山分室担当看護師副主幹広木直子(健康福祉課課長補佐(健康福祉こども課烏山分室担当))
○こそだて支援係担当主幹兼総括兼こども館長羽石徳雄(こども課主幹兼こそだて支援係長兼こども館長)
○こそだて支援係担当係長三浦房子(こども課係長)
○保育係担当課長補佐兼総括柳田啓之(こども課課長補佐(保育担当))
○保育係担当係長高濱裕子(健康福祉課係長)
○母子保健係担当保健師係長兼総括星由美子(こども課母子保健係長)
○保健師主査仲山直美(こども課主査)
○こども館担当係長兼館長補佐小峯洋一(こども課係長兼こども館館長補佐)
○七合保育園副園長鈴木恵美子(すくすく保育園園長補佐)
○七合保育園保育士主査森林さおり(七合保育園主査)
○七合保育園保育士主任高久幸子(にこにこ保育園主任保育士)
○すくすく保育園副園長(庶務担当)勝治範子(境保育園園長補佐)
◎すくすく保育園副園長(保育担当)小池富美子(にこにこ保育園主査)
○境保育園副園長五月女英子(七合保育園園長補佐)
○にこにこ保育園副園長兼子育て支援センター長黒崎紀子(にこにこ保育園園長補佐兼子育て支援センター長)
○にこにこ保育園保育士主査大森弥生(にこにこ保育園主査)
○にこにこ保育園保育士主査榎由美子(にこにこ保育園主査)
○にこにこ保育園保育士主査五味渕万里(七合保育園主査)
○にこにこ保育園保育士主査関谷恵(にこにこ保育園主査)
○にこにこ保育園保育士高津戸正子(すくすく保育園保育士)
○烏山幼稚園副園長高野正子(烏山幼稚園園長補佐)
○烏山幼稚園教諭主査深澤桃子(烏山幼稚園主査)
○つくし幼稚園副園長小堀八重子(つくし幼稚園園長補佐)
○つくし幼稚園教諭主査大谷雅代(つくし幼稚園主査)
○つくし幼稚園教諭主査黒崎明子(つくし幼稚園主査)
○つくし幼稚園教諭主任平野京美(つくし幼稚園主任教諭)
○つくし幼稚園教諭主任村上まさみ(つくし幼稚園主任教諭)

農政課

◎参事兼農政課長荻野目茂(農政課長)

○農政係担当主幹兼総括兼道の駅担当堀江豊水(農政課主幹兼農政係長)

○農政係担当係長菊池義夫(農政課係長)

○農政係担当係長深澤宏志(農政課係長)

○農林整備係担当主幹兼総括高田喜一郎(農政課主幹兼農林整備係長)

○農林整備係担当係長安藤準一(農政課係長)

○農地調整係担当主幹兼農業委員会事務局長篠江正夫(農政課主幹兼農業委員会事務局長)

◎農地調整係担当課長補佐兼総括糸井美智子(都市建設課係長)

○農政環境課南那須分室担当主幹兼総括中山忠夫(総務課付主幹・南那須地区広域行政事務組合派遣)

○農政環境課南那須分室担当係長大貫信行(農政課農政環境課南那須分室係長)

商工観光課

◎商工係担当主幹兼総括・企業誘致定住促進係担当主幹兼総括雫友二(商工観光課課長補佐兼商工係長)

○商工係担当係長長谷川節子(商工観光課係長)

◎商工係担当係長星貴浩(商工観光課主査)

○観光係担当主幹兼総括青木守(商工観光課主幹兼観光係長)

○観光係担当係長相ケ瀬一彦(商工観光課係長)

○観光係担当係長小原沢一幸(商工観光課係長)

◎観光係担当係長菊地静夫(商工観光課主査)

◎観光係担当係長兼地域遺産推進担当高野成彰(総合政策課主査)

環境課

○環境保全係担当課長補佐兼総括小林貞大(環境課課長補佐兼環境保全係長)

○環境保全係担当係長荒井隆郎(環境課係長)

○環境対策係担当課長補佐兼総括滝田勝幸(環境課課長補佐兼環境対策係長)

○環境対策係担当係長小室知三(環境課係長)

都市建設課

◎参事兼都市建設課長岡　清隆(都市建設課長)

○管理係担当主幹兼総括小原沢栄寿(教育委員会事務局学校教育課主幹兼総務係長)

○主査川俣由利子(教育委員会事務局生涯学習課主査)

○都市計画係担当主幹兼総括和久利明(都市建設課主幹兼都市計画係長)

◎都市計画係担当係長兼都市再生ビジョン担当大谷光幸(教育委員会事務局学校教育課係長)

○道路整備係担当主幹兼総括福田光宏(都市建設課主幹兼道路整備係長)

○道路整備係担当課長補佐小田倉浩(都市建設課課長補佐・道路整備担当)

○道路整備係担当係長佐藤光明(都市建設課係長)

○道路整備係担当係長菊池章夫(都市建設課係長)

○地籍調査係担当主幹兼総括福澤文親(都市建設課主幹兼地籍調査係長)

○地籍調査係担当係長木島好一(都市建設課係長)

○地籍調査係担当係長高田勝(都市建設課係長)

◎主査鈴木徳之(都市建設課主任)

○主任中山崇(税務課主任)

○用地係担当課長補佐兼総括佐藤秀寿(都市建設課課長補佐兼用地係長)

◎用地係担当課長補佐中山武雄(都市建設課係長)

上下水道課

◎業務係担当主幹兼総括大谷頼正(上下水道課課長補佐・業務担当)

○業務係担当係長鈴木貢則(総合政策課広報統計係長)

◎業務係担当係長尾崎さゆり(上下水道課主査)

○主任菅俣紀彦(税務課主任)

○工務係担当主幹兼総括大貫勝夫(上下水道課主幹兼工務係長)

○工務係担当係長久保居美晴(上下水道課係長)

◎主査粕谷一男(環境課主任)

○下水道係担当主幹兼総括滝田廣行(上下水道課主幹兼管理係長)

○下水道係担当課長補佐石澤聖生(上下水道課課長補佐・管理担当)

○下水道係担当課長補佐奥澤隆夫(上下水道課課長補佐・事業担当)

◎下水道係担当係長倉部健(上下水道課主査)

会計課

◎会計管理者兼会計課長平山隆(商工観光課主幹兼企業誘致定住促進係長)

○会計係担当主幹兼総括三浦秀文(会計課主幹兼会計係長)

◎会計係担当係長深野葉子(会計課主査)

○主査井上剛(こども課主査)

議会事務局

○庶務議事係担当主幹兼総括藤田元子(議会事務局主幹兼庶務議事係長)

○庶務議事係担当係長佐藤博樹(議会事務局係長)

○庶務議事係担当係長菊地唯一(議会事務局係長)

教育委員会事務局

学校教育課

○学校教育課長羽石浩之(税務課長)

○総務係担当課長補佐兼総括久保居寿子(学校教育課課長補佐・総務担当)

○総務係担当係長大谷啓夫(市民課係長)

○学校教育係担当係長兼総括皆川康代(学校教育課係長)

○指導支援係担当課長補佐兼総括星紀子(学校教育課課長補佐兼指導支援係長)

○指導支援係担当課長補佐岡安正弘(学校教育課課長補佐・指導支援担当)

○施設係担当課長補佐兼総括岩附利克(学校教育課課長補佐兼学校教育係長)

○学校給食センター担当主幹兼所長坂場達生(学校教育課主幹兼学校給食センター所長補佐)

○荒川小学校司書係長和久貴子(学校教育課荒川小学校係長)

○烏山中学校司書主任中山美智代(烏山中学校主任司書)

○江川小学校主任事務員藤川和子(下江川中学校主任事務員)

○下江川中学校主任事務員五月女佐登江(江川小学校主任事務員)

○境小学校主任事務員小森美智子(下江川中学校主任事務員)

生涯学習課

◎生涯学習課長兼南那須公民館長兼烏山郷土資料館長兼南那須歴史民俗資料館長川堀文玉(都市建設課主幹兼管理係長)

○生涯学習係担当主幹兼総括青木敏(こども課主幹兼保育係長)

○生涯学習係担当係長藤井由美子(生涯学習課係長)

○文化係担当課長補佐兼総括木下実(生涯学習課課長補佐兼文化係長)

○社会体育係担当主幹兼総括清水敏夫(生涯学習課主幹兼社会体育係長)

○社会体育係担当係長水上和明(生涯学習課係長)

◎社会体育係担当係長森林浩之(生涯学習課主査)

○烏山公民館担当課長補佐兼館長高野辰夫(上下水道課課長補佐兼業務係長)

◎南那須図書館担当主幹兼館長・烏山図書館担当主幹兼館長義煎幸一(生涯学習課課長補佐兼烏山公民館長)

○南那須図書館司書主査薄井美香(生涯学習課南那須図書館主査)

◎南那須図書館司書主査滝田香織(生涯学習課南那須図書館主任)

○烏山図書館司書副主幹兼副館長矢口由里子(生涯学習課烏山図書館副館長・課長補佐)

◎烏山図書館司書主査塩野明美(生涯学習課烏山図書館主任)

派遣職員

◎南那須地区広域行政事務組合(総務課付参事)両方恒雄(南那須地区広域行政事務組合・総務課付課長)

◎南那須地区広域行政事務組合(総務課付課長)大野治樹(南那須地区広域行政事務組合・総務課付主幹)

○南那須地区広域行政事務組合(総務課付課長補佐)落合明夫(税務課課長補佐兼税務会計係)

○栃木県協働徴収組織(税務課付主査)星宮二郎(栃木県協働徴収組織・税務課付主査)

○栃木県経営管理部文書学事課(総務課付主任)佐藤　剛(栃木県総合政策部市町村課(総務課付主任))

○栃木県後期高齢者医療広域連合(市民課付主任)高瀬浩明(栃木県後期高齢者医療広域連合・市民課付主任)

在籍専従職員

○総務課付課長補佐(休職)全日本自治団体労働組合栃木県本部役員清水康雄

新採用職員

○國井保人(税務課主事)

○雫　保友(こども課主事)

○齋藤　舞(都市建設課技師)

○郡司直哉(教育委員会事務局学校教育課主事)

退職職員

○木村喜一(総務課長)

○平山孝夫(総務課課長・危機管理担当)

○齋藤照雄(福祉事務所長兼健康福祉課長)

○齋藤雅男(会計管理者兼会計課長)

○荒井栄子(税務課主幹兼市民税係長)

○郡司孝一(上下水道課主幹兼事業係長)

○川上康夫(上下水道課係長)

○及川敦子(市民課主査)

○神長恵津子(境小学校主任事務員)

○荒井みち子(烏山小学校主任調理員)

○根本寿子(烏山中学校主任調理員)

七合保育園卒園式（3月24日）

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。もちろん、可能な限り取材にうかがいます。

総合政策課広報統計係
☎0287-83-1112

市内で菓子CM撮影
烏中卒業生21人が参加

3月16日と18日、市内各所で某有名菓子のCM撮影が行われ、今年、烏山中学校を卒業した生徒21人がエキストラとして参加しました。

今回の撮影では、高校生に扮した約160名のエキストラが参加。制服姿の学生やまわしをつけた相撲部員、楽器を持つ吹奏楽部員、ラケットを握る卓球部員、ユニホームを着た野球部員など様々な活動部員姿のエキストラが登場し、旧境小学校や太平寺、龍門の滝周辺などで撮影を行いました。

その中で、制服を着て撮影に参加した烏山中学校の卒業生たち。撮影中、元気いっぱいに走り回りスタッフから「OK」の声がかかると飛び上がって喜んでいました。大木須の小室有輝くんは「走りっぱなしで疲れるけど、とても楽しい」と笑顔で話してくれました。

なお、このCMがお茶の間に流れ始めるのは4月20日頃の予定。何のCMかはそれまでのお楽しみです。

旧境小学校での撮影の様子。

ふじた体験むら　いちごまつり

みなみなす観光いちご園（小浜克巳代表）は3月21日、ふじた体験むらで恒例のいちごまつりを開催しました。

同いちご園ではこの日、「とちひめ」「とちおとめ」「女峰」の30分間食べ放題のいちご狩りが行なわれ、訪れた家族連れなどが甘い香りを漂（ただよ）わせるビニールハウスでその味に舌鼓を打っていました。

晴天に恵まれたこの日、イベント会場には市内外から約500人が来場。パン職人いっぴの手作りパンや地元藤田地区の有志者による手打ちそば販売のほか、つきたてもちの無料サービスや抽選会など盛りだくさんの内容で大いににぎわいました。

なお、いちご狩りは5月下旬ごろまで楽しめます。

いちご狩りを楽しむ親子。

満開の梅の花にウットリ
第12回梅まつり

少し風が強かった春分の日の3月21日、中山のJAなし選果場とその西側の梅園を会場に、恒例の第12回梅まつりが開かれ、市内外から詰めかけた多くの人でにぎわいました。

これは、梅の生産振興と地域活性化を図ろうと、生産農家と農協などで組織する那須烏山市梅まつり実行委員会（大窪金夫委員長）が開いているもの。会場では、梅干しや手づくり味噌、手打ちそば、各種農産物などの直売のほか、甘酒の無料サービスやトマト4キログラムやいちご1パックなどが当たる抽選会など、盛りだくさんの催しが行われました。

また、約3千本の梅の花が満開となった梅園では、花に顔を寄せて香りを楽しんだり花の前で記念撮影する姿が多く見られました。

宇都宮市からお母さんと3人で来たという田村千秋さん（12歳）と美雪さん（7歳）の姉妹は「梅の花の香りがよく、花びらが雪のように舞っていてとてもきれいだった」と美しいコメントを残してくれました。

梅園の花を見て楽しむ人々。

那須烏山市内の
無料相談窓口一覧

県、市及び社会福祉協議会では、下記のとおり各種相談窓口を開設しております。相談内容によって、それぞれ窓口が設けられていますので、日時や場所を確認のうえご利用ください。なお、相談は基本的に無料で秘密厳守となっておりますので、安心してご利用いただけます。

事業名	内容	日時	場所	相談員	問合せ先
行政相談	行政や特殊法人などの業務について	毎月第1·3水曜日　10:00～15:00	社会福祉センター	国から委嘱された行政相談員	市役所総合政策課 ☎83-1112
		毎月第4水曜日　10:00～15:00	保健福祉センター		
人権相談	人権に関する相談	毎月第2水曜日　10:00～15:00	保健福祉センター	人権擁護委員	市役所市民課 ☎88-7111
		毎月第3水曜日　10:00～15:00	社会福祉センター		
心配ごと相談	様々な困りごとや心配ごとに関して	毎月第1·3水曜日　10:00～15:00	社会福祉センター	民生委員 児童委員	社会福祉協議会 本　所 ☎88-7881 烏山支所 ☎84-1294
		毎月第2·4水曜日　10:00～15:00	保健福祉センター		
交通事故相談	交通事故による損害賠償や示談交渉などに関して	毎月20日　10:00～15:00 (閉庁日は翌業務日)	市役所烏山庁舎	県から派遣された専門の交通事故相談員	市役所総務課 ☎83-1111
あすてらす専門相談	高齢者や障害者を対象とし、財産管理や相続、成年後見制度、消費·契約、医療·介護等の総合的な相談	偶数月第2木曜日　10:00～12:00	社会福祉センター	弁護士 社会福祉士	社会福祉協議会 専用 ☎82-3500 ※事前予約が必要
無料法律相談	交通事故、金銭貸借、不動産、相続などの法律相談	9/16、2/17　13:30～16:00	社会福祉センター	栃木県弁護士会	社会福祉協議会 本　所 ☎88-7881 烏山支所 ☎84-1294 ※事前予約が必要
		6/17、11/18　13:30～16:00	保健福祉センター		
移動県民相談	行政全般や県民生活に関して	4/21、7/21、10/20　10:00～15:00	社会福祉センター	県から委嘱された相談員	南那須県民相談室 ☎83-1555
		5/26、8/25、11/24　10:00～15:00	保健福祉センター		

※相談日は予定です。変更になる場合がございますので、事前に問合せ先にてご確認ください。

あなたの納税が未来をつくる
市町村税滞納ぼく滅月間2010

◆全県下一斉の取組
県と市は、税収の確保と滞納額の圧縮を図るため、3月～5月を全県下一斉「市町村税滞納ぼく滅月間」として、協働による徴収の強化に取り組みます。

◆一人ひとりが主役
国と地方の三位一体の改革により国庫補助負担金が削減され、その削減された分が税源移譲として地方税(県税·市税)である住民税に移し替えられました。

そのため、市予算の歳入(収入)に占める自主財源の割合は大きくなりましたが、以後、市民である皆さんに納税という重要な役割をより大きく担っていただくようになりました。

つまり、国ではなく納税者である皆さん一人ひとりが主役として、自分たちが住む市を支えていくことになったのです。

◆自主的な納税
県や市は、納税者の皆さんの自主的な納税を期待しています。しかし、期限を過ぎても納付がない場合は、財産の滞納処分(差押·公売など)をしなければなりません。

差押財産調査のため、滞納者の住居や事業所の捜索、自動車の差し押さえをすることもあります。

滞納処分をしなくてもよいように、皆さんの自主的な納税をお願いします。

県や市では税収確保に向け、次のような取組みを行っています

納税相談 市税を納期限内に納めることが困難な方の相談を受け付けています。

納税催告 納期限を過ぎても納付がない方に対し、督促状·催告書等の送付、電話催告、自宅訪問、勤務先訪問を行います。

財産調査 滞納者の財産について、官公署、金融機関、保険会社、通信機関等に対し調査を行います。

給与調査 滞納者の給与を差押えるため、勤務先に対し給与の調査を行います。

差押処分 不動産·預貯金や生命保険、給与のほか、自動車などの差押を行います。差押後も納付されない場合、差押財産の公売·取立を行います。

【問い合わせ】税務課 管理収税係　☎0287－83－1114

Information

スポーツの結果

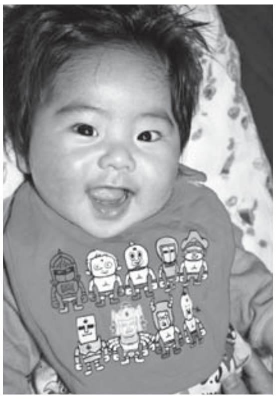
●**第60回グラウンドゴルフ大会**（3月9日、緑地運動公園）
▽優勝：木島　明（三箇中）▽準優勝：上條栄子（こぶし台）▽第3位：平野留吉（曲畑）

●**平成21年度市民フットサル大会**（3月1日～5日、烏山体育館）
▽優勝：NO-TRAP▽準優勝：FCバロンドール▽第3位：ジェネリックス

おめでた――

赤ちゃん名	（保護者）	住所
佐藤　舞果（まいか）	（隆之・裕美）	旭1丁目
佐藤　雅峻（まさとし）	（秀行・美穂）	神長
菊池　夢那（ゆな）	（渡・優織）	野上
髙橋　遥灯（はるひ）	（紀行・正子）	谷浅見
荒井　永結（なゆ）	（久永・陽子）	滝田
仲野　旺（あき）	（友秀・洋子）	谷浅見
橋本　青空（そら）	（純一・芙美）	大桶

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。



あなたの気持ち、話してください。心のサインに気づいてください。

うつ予防

●気分の落ち込み、不眠、ひきこもり等はこころの病気のサインかもしれません。こころの不調を早めにキャッチし、相談や受診によりうつ病や自殺を予防しましょう。

自殺のサイン

追い詰められている人は、自らの苦しさを「死にたい」などの自殺願望の表現や別れの準備、態度の変化、自傷行為など、周囲の人に言葉や行動で訴えています。

うつ病かも・自殺が心配・・・と思ったら

●こころの健康相談窓口●

〈電話・来所相談〉
★栃木県精神保健福祉センター　☎028-673-8785
★栃木県烏山健康福祉センター　☎0287-82-2231
★那須烏山市健康福祉課　☎0287-88-7115

〈電話相談〉
★こころのダイヤル　☎028-673-8341
★栃木いのちの電話　☎028-643-7830

法的トラブルで困ったときには

日本司法支援センター
法テラスへ

・**法テラスコールセンター**
☎0570－078374（おなやみなし）
月～金　9:00～21:00、土　9:00～17:00

・**法テラス栃木（日本司法支援センター栃木地方事務所）**
住所　宇都宮市本町4-15宇都宮NIビル2階
☎050-3383-5395
月～金　9:00～12:00、13:00～16:00

法的な困りごとは、まず、法テラスにお電話ください。解決に役立つ情報を提供したり、法律相談の窓口を紹介します。また、資力の乏しい方に対しては、無料で法律相談を行い、裁判、調停、交渉の代理人として弁護士・司法書士を依頼する必要がある場合には、審査のうえ、弁護士等を紹介し、その費用を立て替えます。

広報那須烏山への広告は随時受け付けています

＊＊＊那須南トラベル旅の友　旅行のご案内＊＊＊

■"北島三郎特別公演ツアー（日帰り）"■

期　　日：平成２２年６月１２日(土)
費　　用：那須烏山発　１９，０００円
主なコース：ゆうぽうとホール　『Ｓ席』での観覧です！
※昼食ご希望の方は別途お受けいたします。
【お問合せ・お申込】
(有)那須南トラベル：TEL(84)0284

＊＊＊那須南トラベル旅の友　旅行のご案内＊＊＊

■"坂本龍馬のふるさと・四万十川・足摺・金刀比羅の旅"■

期　　日：平成２２年６月６日(日)～９日(水)３泊４日
費　　用：那須烏山発　９８，０００円
主なコース：土佐・龍馬であい博～四万十川舟下り～足摺～竜串海岸グラスボート～宇和島～金刀比羅宮
【お問合せ・お申込】
(有)那須南トラベル：TEL(84)0284

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

◆ 児童図書 ◆

◇『カクレクマノミは大きいほうがお母さん』石井聖岳／絵（あかね書房）
◇『木のなまえノート』いわさゆうこ／作（文化学園文化出版局）
◇『ともだちごっこ』降矢なな／絵（偕成社）
◇『ピンクのチビチョーク』新藤悦子／作（童心社）
◇『わたり鳥の旅』重原美智子／絵（偕成社）
◇『めざせ！キッズ・ライブラリアン』二村健／監修（鈴木出版）
◇『郷土をつくった偉人事典』上田孝俊／監修（PHP研究所）
◇『はじめまして人間たち』きむらゆういち／作（角川学芸出版）
◇『へんてこりんでステキなあいつ』那須正幹／作（角川学芸出版）
◇『にこちゃんのママのて』あきやまただし／作（教育画劇）
◇『べべべんべんとう』さいとうしのぶ／作（教育画劇）
◇『てのひら』ふじたひおこ／絵（ＰＨＰ研究所）
◇『ぼくがまもってあげるね』マーサ・アレクサンダー／作（あすなろ書房）
◇『パックン！おいしいむかしばなし』ルーシー・カズンズ／作（岩崎書店）
◇『ほんやのいぬくん』ルイーズ・イェーツ／作（岩崎書店）
◇『飛べない渡り鳥リッレヴィン』ペール・グスタフソン／絵（汐文社）
◇『ゆかいな農場』マルセル・エーメ／作（福音館書店）
◇『牛をかぶったカメラマン』レベッカ・ボンド／作（光村教育図書）

◆ 一般図書 ◆

◇『感応連鎖』朝倉かすみ／著（講談社）
◇『血戦』楡周平／著（講談社）
◇『幸せ上手』渡辺淳一／著（講談社）
◇『星が吸う水』村田沙耶香／著（講談社）
◇『コトリトマラズ』栗田有起／著（集英社）
◇『ももこのまんねん日記』さくらももこ／著（集英社）
◇『虚国』香納諒一／著（小学館）
◇『地上で最も巨大な死骸』飯塚朝美／著（新潮社）
◇『麗しき花実』乙川優三郎／著（朝日新聞出版）
◇『姜維伝』小前亮／著（朝日新聞出版）
◇『銀河に口笛』朱川湊人／著（朝日新聞出版）
◇『冥談』京極夏彦／著（メディアファクトリー）
◇『最後の卒業生』本田有明／著（河出書房新社）
◇『sex』石田衣良／著（講談社）
◇『身をつくし』田牧大和／著（講談社）
◇『自白』乃南アサ／著（文藝春秋）
◇『老兵の消燈ラッパ』佐藤愛子／著（文藝春秋）
◇『失恋延長戦』山本幸久／著（祥伝社）
◇『天空の陣風（はやて）』宮本昌孝／著（祥伝社）
◇『それなりに生きている』群ようこ／著（筑摩書房）
◇『1989世界を変えた年』マイケル・マイヤー／著（作品社）
◇『さすらう者たち』イーユン・リー／著（河出書房新社）
◇『勇気の季節』ロバート・B.パーカー／著（早川書房）

文芸

短歌　小勝　明　選

冴え返る冬晴れの田に耕せる大型トラクターの快音響く
荒井　キイ（鴻野山）

たくあんをきざみて食べる今の我れ晩年の母に仕草似てきぬ
海野　ツギ（　旭　）

庭先のクロッカスの芽出揃いて温き日差しに春は来ており
大鐘　愛子（落　合）

剃り残し少しあれども通へ行く床屋も我れも共に老いたり
平野　重男（大　金）

俳句　齋藤　穂　選

休耕の一隅ひかる蕗のたう
水井　陽子（　南　）

目を交わすことも叶はず内裏雛
礒　美枝子（初　音）

一輪の花にもぐりて冬の蜂
平野　糸子（中　央）

堀の水膨らむ気配春の雪
髙徳　美井（大　金）

川柳　篠﨑　酔月　選

故障したテレビに時間持て余し
川俣登志子（　旭　）

初見合い話題のなさで断られ
南木　桂子（中　央）

年老いた伯母を看取って思うこと
吉葉　里子（八ヶ代）

描きたい十年前の君の顔
中野　秀史（南大和久）

作品募集
毎月10日までに、総合政策課広報統計係あて、郵送またはファックス等の方法で作品をご応募ください。あて先は裏面をご覧ください。

広告掲載を募集

市では、広報紙の有効活用と安定的な収入源の確保を目的に、「広報那須烏山」紙面への広告掲載を募集しています。

■掲載基準
位　置：各ページの下一段（表紙除く）
サイズ：縦4.7cm×横8.4cm
料　金：単色　1回5千円
　　　　カラー　1回1万円
※カラーは裏表紙に限ります
申込：掲載希望号の発行日の30日前まで（詳しくは総合政策課広報統計係までお問い合わせください。）
☎0287－83－1112

人の動き

2010年3月1日現在

世帯数	10,012
人口	29,688
男	14,597
女	15,091
対前月	13人減
出生 10	死亡 34
転入 67	転出 56

※毎月人口調査より

那須烏山の民話

其の二十五

那須烏山市に伝わる民話を紹介します。

こぶ取りの神さま（後編）

（先月号までのあらすじ）

ある秋の初めの頃。上境の仙蔵という若者が、大きな鍬をもつおじいさんと出会い、その鍬を預かる。

秋が過ぎ、仙蔵は鍬の持ち主であるおじいさんに会うために矢板の川崎村を訪ねる。庄屋の主人であったおじいさんは、仙蔵を跡取りにと言い、仙蔵は川崎村の庄屋の跡取りとなった。

庄屋の跡取りになることが決まった仙蔵。何しろ20人からの人を使う大農家でしたから、生易しい若者では、この大勢の人たちを従えることができなかったでしょう。

庄屋になった仙蔵は、心が優しく、村に困っている者がいれば、お金や物を出して助けてやり、物貰いや旅人には食べ物や着物などを恵んでやりましたので、人々から『仏の庄屋さま』と尊敬され、村も穏やかに治まりました。

ところがどうしたことか、仙蔵の耳の後ろに大きなこぶができて、医者にかかっても、行者にご祈祷してもらっても、どうしても取れません。ある夜「上境の熊野権現に願を掛ければこぶが取れるだろう」と、夢の中でお告げがありました。

生まれ故郷の上境へ何年も帰っていなかったので、在所の神様がお怒りになったと思い、次の日、お供の者にそなえ物を持たせ上境へ行きました。先祖のお墓参りをし、山の中の熊野権現におそなえ物を捧げお祈りをしました。

川崎村へ戻った後、半年も経たないうちに大きなこぶはだんだん小さくなり、しまいに跡形もなく消えてしまいました。

たいそう喜んだ仙蔵は、石屋に高さ70センチ、巾35センチ程の石に「調子山熊野三社大権現 寛政五癸丑年二月十六日」と字を彫らせ、上境の熊野権現の山の下まで運ばせ、それから先は山の頂上まで、この重い石を自分ひとりで担ぎ上げ、今ある所へ安置したということです。

adworks Advertising agency company
総合広告代理店 各種印刷
(株)アド・ワークス
TEL.028-601-3557
アド・ワークス 栃木 検索

編集後記

○日本人にとって桜は特別なもの。この時期、ニュースでは毎日のように開花状況を伝えます。桜に限らず蕗の薹など自然の趣に春の到来を感じる今日この頃、今月号をもって広報担当を卒業することになりました。この2年間を回顧して見る桜は、特別なものになりそうです。(S)

○S係長！2年間大変お疲れ様でした。私を置き去りに異動してしまうのですね？新しい課になっても"飲みすぎ"に注意して仕事を頑張ってください。私はあと1年間だけ？広報統計係で頑張ってS係長の課を追いかけます。See You Again(G)

○「自慢は知恵の行き止まり」。自慢するようになると、それ以上良くしようという気持ちがなくなり進歩しなくなる、という意味です。異動となった編集長Sの教えを活かして、知ったかぶりすることないよう1年間努めていきます。「一意専心!!」(K)

発行　那須烏山市
〒321-0692
栃木県那須烏山市
中央１丁目１番１号
☎ 0287-83-1112
Fax 0287-84-3788
Eメール sohgohseisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp
編集　総合政策課
毎月10日発行